

令和5年度(2023年度)第3回学校運営協議会 議事概要

- |        |  |
|--------|--|
| 1. 日 時 | 令和6年(2024年)3月6日 16時～17時                                    |
| 2. 場 所 | 豊中市立新田小学校 校長室  |
| 3. 出席者 | (委員)7名(定数7名)<br>(事務局)校長 主査                                 |
| 4. 次 第 | (1) 学校評価(学校教育自己診断結果)について<br>(2) ESD 教育活動のまとめと展望<br>(3) その他 |

【議事概要】

- (1) 全校児童対象に新田版学びの4本柱にそった教育活動に係る質問紙アンケート結果から分析したESD教育結果の成果と課題について報告
- 成果 学びの4本柱に基づいたESD教育活動は、定の成果が見て取れる。育みたい七つの能力・態度の育成においてもほぼ定着しているといえる。児童の学力も安定している。
- 課題 「人前で自分の考えを述べる」ことは苦手意識をもっており、三学期から開始した、週一回、全校一斉に取り組むミニプレゼンの継続的な取り組みで改善していく予定。
- (2) 一年間のESD教育の総括として実施したESDフェスタから見取る児童の変容  
環境省主催「ESD地域フォーラム発表」から模索した今後のESD教育の展開  
「自分事化」に向け、企業等、外部人材の投入と連携は今後さらに必要。  
そのため引き続き社会に開かれた教育課程の展開は必須だと考える。
- (3) ESD教育を展開するうえで地域と連携した「ひろがり」をどのように作っていくか  
次年度の運営協議会で議論の予定  
創立150周年記念誌の完成報告

資料：次第

自己診断の結果概要(プリント一枚)  
記念誌

(主な意見要旨)

(1) について

一般的に、人前で話すことは日本人にとり苦手分野であるといえる。全校一斉の取り組みは効果的だと考える。

(2) について

企業連携等、特に京都市のシステムなど学校に取り入れると有効。そのためには市教委と連携は必要だと思われる。関係部署はどこになるのか。

(3) について

ESD教育の取組みにおいて地域連携を具体的に進めていくため次年度以降本会で協議していくことが必要。